

2020年 9月 8日

報道関係者各位

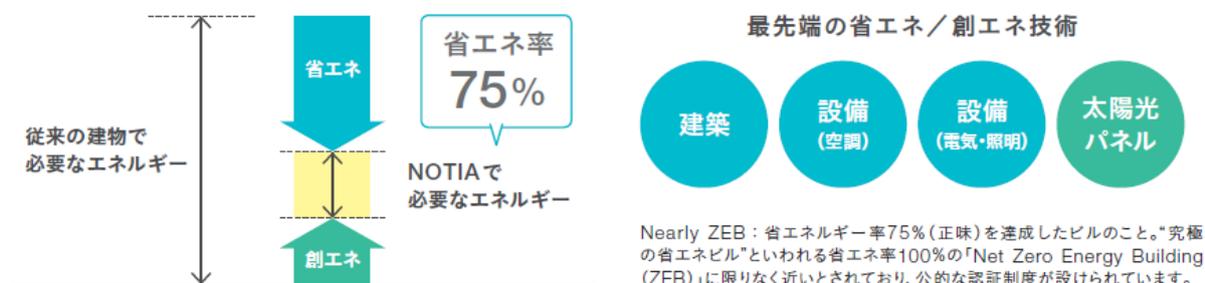
株式会社東急コミュニティー

東急コミュニティー技術研修センターNOTIA Nearly ZEB 取得のエネルギー削減量基準値 75%を上回る 年間エネルギー削減率「83.2%」達成！！

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、2019年5月に開業した東京都目黒区上目黒所在の自社研修施設「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA（ノティア）」（以下、NOTIA）において、国土交通省が主導する建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）の「Nearly ZEB」認証を取得しています。稼働から1年が経過し、初年度の年間エネルギー削減率が目標を上回る83.2%となりましたので、ご報告いたします。

・ZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）とは

ZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）とは、建築・設備上の省エネルギー技術によってエネルギー消費を極力小さくする一方、太陽光発電などによってエネルギーを自給し（創エネ）、トータルのエネルギー消費量の削減を目指す建物を指します。NOTIAは東京都内の事務所ビルとしては初めて、エネルギー削減量75%の「Nearly ZEB」を取得しました。



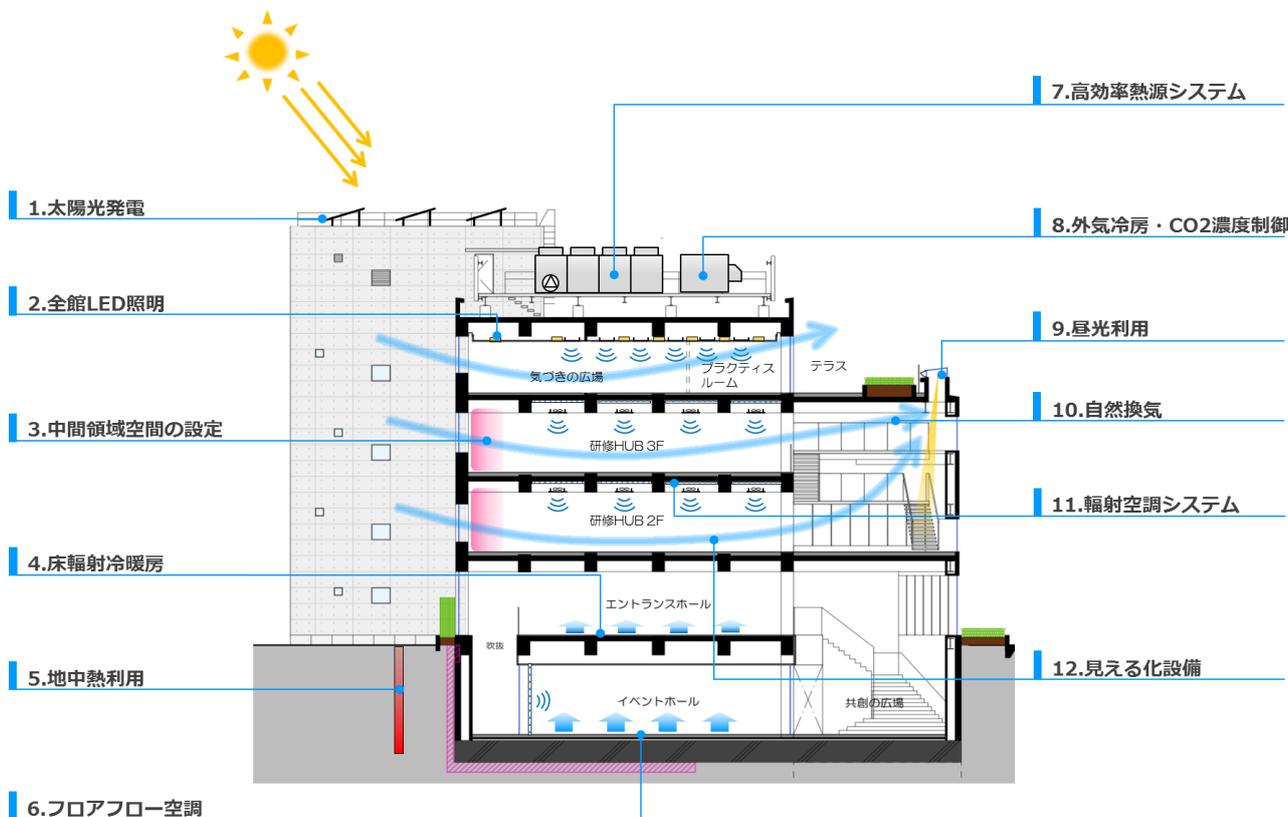
・エネルギーマネジメントを適正に行い、83.2%削減を実現

NOTIAのコンセプトは「建物そのものが研修素材」です。現場と同じ環境で見て、触って、学べる施設となっており、エネルギーマネジメントについても同様に「学びの素材」として建物管理の品質向上に役立てています。

竣工年度である2019年度は、当社および、施設の設計・施工を行った清水建設等で連携してエネルギーマネジメントを推進しました。NOTIAでは様々な省エネ・創エネ策を実践しておりますが、検証の結果、次の3点がエネルギー削減に大きく寄与しました。

- ・ 高効率熱源システム 高効率空冷モジュールチラーを採用。輻射空調用に中温冷水を生成することで熱源効率を向上
- ・ 太陽光発電 屋上・壁面に太陽光パネル計139枚を設置し、エネルギーを創出する
- ・ 全館LED照明 昼光連動制御・スケジュール制御などで無駄な照明エネルギーを削減

また、エネルギー削減・創出と併せて、各設備の省エネルギーに向けた運用改善（建物のエネルギー消費量を細かく分析し、当初の想定と異なる場合は速やかに各設備運用計画を立案・検証しPDCAサイクルを速やかに回すこと）を徹底することにより、Nearly ZEB 基準値である 75%を大きく上回る 83.2%のエネルギー削減に成功しました。



・ 自社研修施設を省エネルギー実証実験の場とし、更なる管理ノウハウを蓄積

当社は総合不動産管理会社のリーディングカンパニーとして、豊富な経験と実績をもとに、お客様の建物の資産価値向上に向けた提案を行ってまいりました。

今後も省エネルギー推進の取り組みを通じて、既存ビルのみならず、先進的な建築物への理解を深め、更なる建物価値向上に向けた知識・経験を蓄積、お客様に提供してまいります。

■ 東急コミュニティー技術研修センターNOTIA

所在地：東京都目黒区上目黒三丁目9番1号

構造・規模：RC造S造併用構造 地下1階 地上5階

敷地面積：842 m² (254 坪)

建築面積：610 m²

延床面積：2,440 m² (738 坪)

設計・施工：清水建設株式会社



【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：高村・伊藤）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。